

JAMCA ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association

No.7

1995年10月1日

発行 全国自動車整備専門学校協会

編集事務局

〒136 東京都江東区亀戸2-28-5

☎03-3685-6761 FAX03-3684-7420

就職まで専門学校の責任

社会的役割を積極的にアピール

全国自動車整備専門学校協会副会長 中川 裕之

厳しい残暑も去り、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、副会長にご推挙いただきましたこと、大変恐縮いたしております。協会の発展のために汗を流せ、という諸先輩方の叱咤激励と受け止め、微力ではございますが全力を傾注する所存でございますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

バブル崩壊後5年を経過したにもかかわらず、わが国の経済に復調の兆しは見られず、金融機関の倒産も止むを得ないという、さらに深刻な状況を迎えています。

厳しい環境は続く

また、世界経済も大きな変動をきたしており、いわゆる景気循環にあてはまらない景気の低迷は、各国ともに初めての経験であるばかりでなく資本主義経済の終末、あるいは、貨幣経済の終末を迎えていると考えられます。

たとえば、コンピューターや衛星通信等、急激な高度情報化社会の発達に伴い、為替変動が実態経済とかけ離れて投機的にコントロールされてしまうことは、何人も予想し得なかったことです。



そこで、新たな世界経済システムの構築が求められていますが、未だその方向性は定まっていないことから、日々また年を追うごとに、景気が後退することを覚悟しなければならぬと思います。

こうした厳しい環境のなかで、自動車整備専門学校が社会に貢献し続ける道は、当然のことながら本質の追求であると思います。

大学や短大では、卒業後の就職について責任を持ちませんし、在学中の勉強の成果についても同様です。

専門学校は、就職についても、勉強の成果すなわち「国家資格の取得」についても、責任を持たなければなりません。

また、産業界では、即戦力の人材を求めているわけですから、社会人としての礼儀と作法は、在学

中に身に付けさせておくことはもちろんのこと、いわゆる新入社員教育を産学協同行うことが、大学や短大、その他の専門学校と自動車整備専門学校との決定的な役割の違いであると思います。

評価はまだ不十分

このように、われわれ自動車整備専門学校は、社会的責任を果たすべく、努力をしていますが、誠に残念ながら、その実績を正しく評価されておられません。

本協会は、高等教育機関としての自動車整備専門学校の果たしている役割を、今後益々積極的にアピールし、社会に正しく理解していただく努力が必要と考えております。今後の協会運営につきまして、会員の皆様のご協力、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

■ CONTENTS ■

- 2面 OPINION
- 3面 北から南から
- 4・5面 特集・時短の有効利用
- 6面 協会トピック
- 7面 各校の行事紹介
- 8面 私の教授法